

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、取引開始直後に3.04台前半を付けた後、引けにかけては弱い4月米雇用等統計を受けて対レアルでドル売りが進行し、2.97台前半で取引を終えた。米労働省が公表した4月非農業部門雇用者数は前月比22.3万人増と、雇用者の増加幅は前月から拡大したものの、前月分が速報値の12.6万人増から8.5万人増(2012年6月以来の低水準)へ下方修正された他、平均時給の伸びも前月比0.1%増と市場予想を下回った(前月分も同0.3%増から同0.2%増へ下方修正)。雇用それ自体は相応に堅調な数字を示したが、市場が注目している賃金インフレ圧力に高まる兆しが見えないことから、雇用統計全体としては若干弱い内容であったと言えよう。なお、失業率は2008年5月以来の低水準となる5.4%を記録した。マーケットでは、「今回の結果はFRBが早期利上げを正当化するには不十分」との見方が広がり、ドル売りの反応が優勢となつたが、利上げの判断は単月の統計結果の変動で決定されるべき性質のものではないことには注意を要したい。

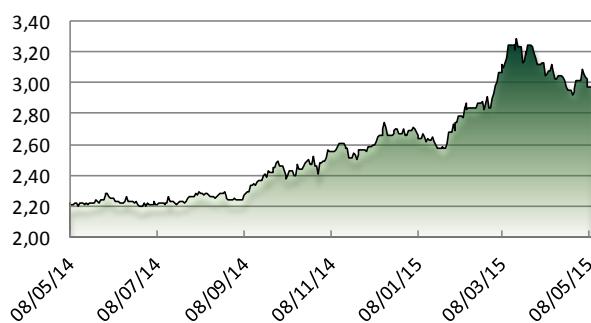
Levy財務相は7日、国民に不人気の財政緊縮策を擁護した上で、赤字拡大に歯止めをかけるべく財政目標を設定する案を示した。ブラジル下院は6日、失業給付の削減法案を僅差で可決したものの、緊縮策は景気悪化に拍車をかけるとして反対意見も依然として根強い。Levy財務相は、成長加速への道筋をつけるためには、財政緊縮策を早急に実行する必要があると主張している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	5月7日	5月8日	前日比	4月8日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,57	40,27	+0,70	39,37	+0,90
USD / BRL Spot	BRL	3,0258	2,9746	-0,0512	3,0494	-0,0748
USD / JPY Spot	JPY	119,74	119,76	+0,02	120,13	-0,37
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	56.921	57.149	+228	53.661	+3.488
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	235,4	226,1	-9,3	239,2	-13,1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,89	12,69	-0,20	12,53	+0,16
DI Future Jul16 (金利先物)	%	13,81	13,74	-0,07	13,22	+0,52
3 Months US Dollar Libor	%	0,279	0,280	+0,001	0,271	+0,009
CRB Index (国際商品指数)	Index	226,8	229,2	+2,4	216,4	+12,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート

